

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	国際機構論	2	和田 修一	
平成25年度以前	国際機構論	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会))法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民))法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
国際機構の歴史と発展、国際連合の機能とその課題を理解し、説明できるようになる。				共通
授業の概要				専門基礎
19世紀以降、国際機構は国際政治の展開とともに発達した。この国際機構論においては、国際機構の発展の歴史と第二次大戦以後の国際機構という2つの柱に基づいて議論を行っていく。前半では、19世紀以降の国際政治の展開に焦点を当てながら国際機構の発達を考える。後半では、国際連合の機能と改革論議、国際機関が取り組む様々な課題、国際機構をめぐる新しい傾向などについて考えていく。この授業は教職科目であるので、その点にも配慮する。				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回：ガイダンス</p> <p>第2回：国際機構の定義とその起源</p> <p>第3回：ウィーン体制と勢力均衡</p> <p>第4回：第一次世界大戦とウィルソン</p> <p>第5回：集団防衛と集団安全保障</p> <p>第6回：国際連盟とその問題点</p> <p>第7回：第二次世界大戦と国際連合</p> <p>第8回：国際連合の目的と組織</p> <p>第9回：国連の発展と国連改革</p> <p>第10回：イラク戦争と国連</p> <p>第11回：難民の歴史</p> <p>第12回：難民と国際機関</p> <p>第13回：自然災害と国連機関</p> <p>第14回：核不拡散体制と国際機関</p> <p>第15回：まとめ</p> <p>なお、時事問題も随時取り上げていくので、予定が変わることもある。</p> <p>【履修上の注意事項】</p> <p>毎回、国際関係の最新のニュースも取り上げていくので、テレビや新聞の報道にも関心をもってほしい。</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
参考書・参考資料等				演習
加藤秀治郎、渡邊啓貴編『国際政治の基礎知識(増補版)』(芦書房、2002) 斎藤直樹『国際機構論』(北樹出版、2002)そのほか、文献を随時紹介する。				25年度以前 政治行政コース
学生に対する評価				
レポート、期末テストのほか、授業中に随時行う小レポートなども加味する。				